

近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所
資 料 配 布

配 布 日 時	平成 18 年 11 月 29 日 (水) 午後 1 4 時 0 0 分
------------	---

件 名	真名川ダム上流域の水源林の保全・育成を目指した植樹会の開催について
-----	-----------------------------------

概 要	<p>1 2 月 2 日 (土) 午前 9 時 30 分から 10 時頃まで</p> <p>今回の植樹会は「真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン」の施策である「水源林の保全・育成」「上下流交流」を目指す、取り組みです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 名 称：真名川ダム上流域における植樹会 ○ 主 催：真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会 ○ 参加団体：NPO ドラゴンリバー交流会、九頭竜川中部漁業協同組合外 ○ 植栽樹種：クヌギ、コナラ等の苗木 20cm 程度、200 本 ○ 植樹場所：大野市中島（中島公園より笹生川ダム方面に約 1 キロ、真名川右岸）
-----	--

取 扱	_____
-----	-------

配布場所	福井県県政記者クラブ 大野市情報広報課

お問い合わせ先
近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課長 阪口 繁 (内線 3 3 1) 電話 0 7 7 9 - (6 6) 5 3 0 0 (代)



植樹会計画書

1. 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンが目指す水源林の保全・育成

九頭竜川の水源地域に位置する大野市域では、地域の活動団体、自治体、ダム管理者、関係機関等が協働して、水源地域の自立的・持続的な活性化を図るための計画として「真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン」¹⁾を策定し、同計画の推進に取り組んでいます。

この計画に盛り込まれた施策メニューの柱の一つである「水源林の保全・育成」を目指した最初の取り組みとして、水源地域の豊かな自然環境を支える水源林の育成を目指し、真名川ダム貯水池上流端で新たな森づくりを進めます。今回取り組む森づくりは小さな活動ですが、この活動が流域全体に広がっていくことで、下流の受益地域に豊富で美しい水資源を供給するとともに、水源地域の最大の魅力である豊かな自然環境を創出します。

また、森づくりに際しては、水源地域の人々や下流地域の人々の参画のもとに取り組むことで流域連携の契機とし、交流活動の活発化にもつなげていきます。今後の計画として、「森でのドングリ拾い」「苗木づくり」「苗木植樹」「植林地の草刈・間伐」などのボランティア活動を継続して行い、流域に暮らす人びとが協働で、参加し、育てた、自分達の手で作る森づくりを考えています。



¹⁾ ビジョンについてのホームページ：<http://www.kuzuryu-moc.go.jp/>

○ ドングリ拾い



○ 苗木づくり



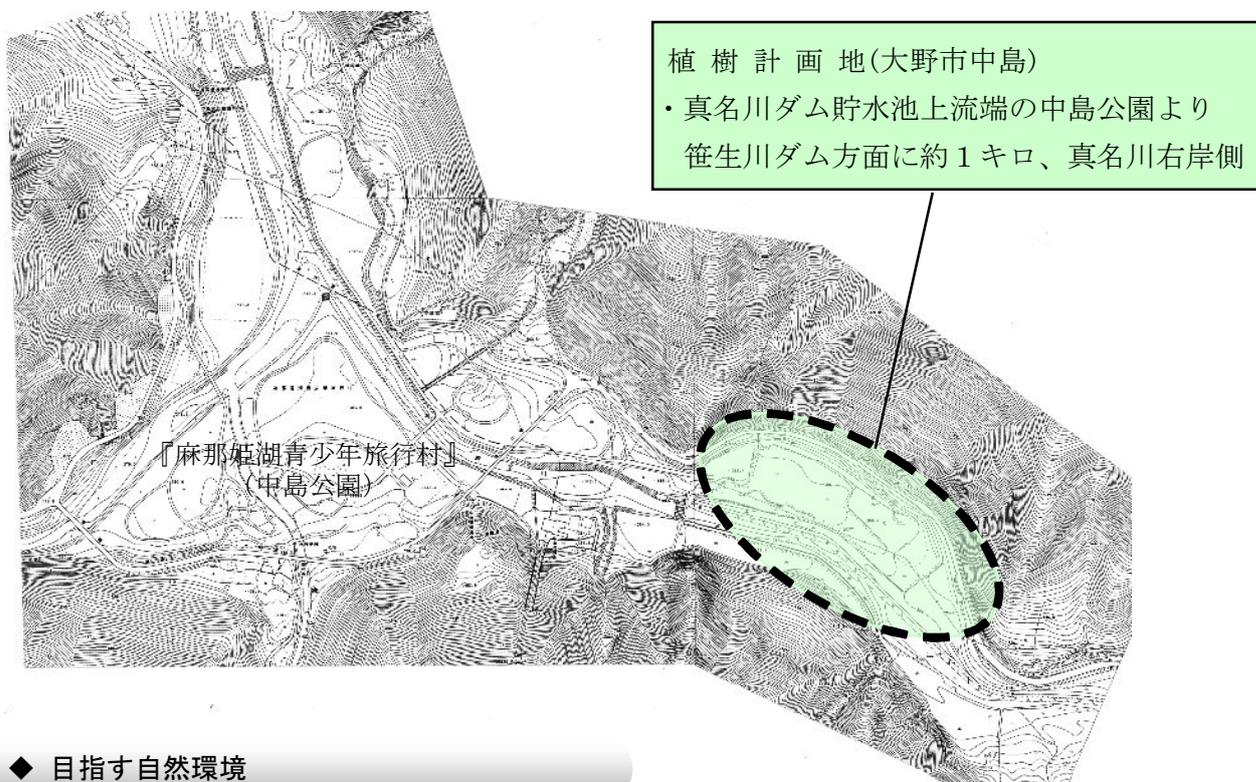
○ 植樹地の草刈・間伐



○ 苗木植樹



2. 植樹会について



◆ 目指す自然環境

計画対象地一帯は、真名川ダムの建設以前は旧西谷村の集落が形成され、村の生活を支える炭焼きや薪の原木を産出するコナラ、クヌギ等の森が周辺に広がっていました。こうした地域に本来育つドングリの実る森を再生することで、水源地域に生息する野鳥や昆虫、小動物などへの餌と住み家を提供し、地域の自然生態系の保全と育成を目指します。

ここでは、春のやわらかな新緑から真夏の豊かな緑を経て、秋にはたくさんのドングリが実り、野鳥やリス、ネズミなどの餌になります。また、こうした動物が運んだドングリが他の場所で育ち森が広がっていきます。落ち葉は森の土壌を豊かにして次の緑を育みます。

森林の整備は、土砂の流失を防ぐことでダム貯水池に流入する濁水を軽減させ、美しく豊かな水を下流に流します。ここから流れ出る多くの養分を含んだ水が、下流の真名川、九頭竜川を経て日本海へと注ぎ、川や海に棲む魚を豊かに育てます。

成長した木々は、春の新緑から秋の紅葉、冬の落ち葉まで様々にその姿を変化させ、美しい風景を創出します。特に、クヌギやコナラはカブトムシやクワガタ等の多くの昆虫を育みます。

また、適切な森林管理から発生する伐採木などを薪や炭焼きなどの原料として有効に利用することで、資源を循環利用する森として将来に受け継いで行きます。

大野市街

